

# 福島の 森と海は どうなっているか

Forest and Marine Environments  
in Fukushima now

開催日時

2024年 2月 29日(木) 13:00~16:30

会場

コラッセふくしま 4F 多目的ホール

オンライン同時配信

対象者

一般市民、行政、研究機関等関係者

参加無料

オンライン参加可  
要事前登録

## 市民向けシンポジウム登壇者



「ALPS処理水放出前後の海のトリチウム」

高田 兵衛 TAKATA Hyoe  
福島大学 環境放射能研究所 准教授



「森林生態系における放射性核種循環の理解に向けて」

ヴァシル・ヨシエンコ Vasyi YOSCHENKO  
福島大学 環境放射能研究所 教授



「福島の農業と林業の「再生」  
—物質循環の視点から—」

金子 信博 KANEKO Nobuhiro  
福島大学 食農学類 教授



「魚類の移動生態の解明と  
福島県の漁業復興」

和田 敏裕 WADA Toshihiro  
福島大学 環境放射能研究所 准教授



「小動物に蓄積したわずかな量の  
放射性ストロンチウムを追いかける」

高貝 慶隆 TAKAGAI Yoshitaka  
福島大学 共生システム理工学類 教授



「人為起源および天然トリチウム放射性核種による  
陸水滞留時間の数値モデリング」

マキシム・グシエフ Maksym GUSYEV  
福島大学 環境放射能研究所 特任准教授



# 福島大学環境放射能研究所 第10回 成果報告会

## The 10th Annual Symposium of the IER, Fukushima University

福島大学環境放射能研究所は、2011年の東京電力福島第一原子力発電所の事故により影響を受けた福島の環境中の放射能研究を推進するために2013年に設立され、今年度で10周年を迎えました。成果報告会は、研究結果から見える福島の将来について今までの研究でわかったことを共有し、今後の研究発展につながるよう毎年開催しています。地域の方や放射能研究の専門家等へ向けて研究成果をわかりやすくお伝えするとともに、参加者との意見交換を通して研究成果が地域に還元される事を目指しています。

**2/28(水) 専門家向け口頭発表** 4F:多目的ホール 14:30-18:00  
対象: 専門家 ※どなたでも参加可 言語: 英語

**2/29(木) 専門家向けポスター発表** 4F: 会議室401、402、403(予定) 10:00-12:00  
対象: 専門家 ※どなたでも参加可 言語: 英語

**2/29(木) 市民向けシンポジウム** 言語: 日本語または英語 同時通訳あり

時間	内容	登壇者	所属・役職
13:00-13:05	開会挨拶 Opening Remarks	三浦 浩喜 MIURA Hiroki	福島大学 学長 President, Fukushima University
13:05-13:10	趣旨説明 Overview	難波 謙二 NANBA Kenji	福島大学 環境放射能研究所 所長/ 福島大学 共生システム理工学類 教授 Director, IER/ Professor, Faculty of Symbiotic Systems Science
13:10-13:35	「ALPS処理水放出前後の海のトリチウム」	高田 兵衛 TAKATA Hyoe	福島大学 環境放射能研究所 准教授 Associate Professor, IER
13:35-14:00	「森林生態系における放射性核種循環の理解に向けて」	ヴァシル・ヨシェンコ Vasyl YOSCHENKO	福島大学 環境放射能研究所 教授 Professor, IER
14:00-14:10		休憩 Break	
14:10-14:35	「福島の農業と林業の「再生」-物質循環の視点から-」	金子 信博 KANeko Nobuhiro	福島大学 食農学類 教授 Professor, Faculty of Food and Agricultural Sciences
14:35-15:00	「魚類の移動生態の解明と福島県の漁業復興」	和田 敏裕 WADA Toshihiro	福島大学 環境放射能研究所 准教授 Associate Professor, IER
15:00-15:10		休憩 Break	
15:10-15:35	「小動物に蓄積したわずかな量の放射性ストロンチウムを追いかける」	高貝 慶隆 TAKAGAI Yoshitaka	福島大学 共生システム理工学類 教授 Professor, Faculty of Symbiotic Systems Science
15:35-16:00	「人為起源および天然トリチウム放射性核種による陸水滞留時間の数値モデリング」	マキシム・グシエフ Maksym GUSYEV	福島大学 環境放射能研究所 特任准教授 Project Associate Professor, IER
16:00-16:25		総合討論 Discussion	
16:25-16:30	閉会挨拶 Closing Remarks	高村 昇 TAKAMURA Noboru	福島大学 環境放射能研究所 副所長/ 長崎大学 教授 Vice Director, IER/Professor, Nagasaki University

事前参加登録は特設ページからお願いします。

IER 成果報告会

検索

<https://www.ier.fukushima-u.ac.jp/aprm>



インターネット環境がない方はTEL または FAX で右記についてお知らせください。

- ・氏名(フリガナ)
- ・所属先またはお住まいの市町村
- ・電話番号
- ・参加方法: 現地参加またはオンライン

提供いただいた個人情報は、国立大学法人福島大学個人情報保護規制に従い、適切に管理・利用いたします。

お問い合わせ

福島大学 環境放射能研究所

TEL 024-504-2114 FAX 024-503-2921

E-mail [ier@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:ier@adb.fukushima-u.ac.jp)



会場

コラッセふくしま

4階多目的ホール  
福島県福島市三河南町1番20号  
(福島駅西口 徒歩3分)

